

# 三学年だより

No. 12

令和7年 10月31日  
太宰府市立太宰府西中学校  
文責 江崎 彰泰

## 志望校決定！

### ～ 勉強は何をするための「道具」ですか？ ～

文化発表会が終わりました。合唱コンクールは、どのクラスも気持ちのこもった聴き応えのある素敵な合唱でした。

- 3年生はそれぞれが最後のイベントを全力で取り組もうとしている姿に成長を感じ、とても感動しました。
- どのクラスもピアノも指揮者も合唱もよく練習してきたのがわかりました。歌声もきれいでとても素晴らしかったです。
- 中学校最後の歌を聴くことができとてもよかったです。1年生の頃から成長したなあとしみじみ感じました。

保護者の方々からの感想です。「感動しました」「素晴らしかった」「胸が熱くなりました」などの感想をたくさんいただきました。

午後のステージ発表も素晴らしい内容でした。多くの時間とエネルギーを注いで練習を重ねてきたことが伝わってきました。展示作品では、日頃の努力の成果を披露することができました。実行委員、指揮者、伴奏者、パートリーダー、機材係のみなさん、ステージで発表したみなさん、本当にお疲れさまでした。また、準備や片付けの仕事を担った委員や係のみなさん、ありがとうございました。

さて、昨日2回目の学力診断テストが行われました。今の力を出し切ることはできたいでしょうか？このテストに向けて、「**団体戦**」の雰囲気少しずつ感じられるようになりました。「一緒に頑張ろう」「私も頑張るからあなたも頑張る」という「**団体戦**」の雰囲気を、これからも授業を中心にどんどん広げていきましょう。

そして、次は中間考査です。ゆっくり休みたいところですが、そんな暇はありません。学力診断テストと同様に、中間考査はみなさんにとってものすごく重要です。目標点数を決めて、計画的にテスト勉強を進めていきましょう。

また、11/25日(火)から教育相談(三者面談)が始まります。いよいよ卒業後の進学先を決めなければなりません。何となく決めるのではなく、自分の考えを持ち、お家の人とじっくり話し合った上で決めましょう。



ここで、勉強と向き合っている受験生のみなさんへ、「勉強」についてのある考え方を紹介します。

あらゆる道具は、間違った使い方をすると必ず「人を傷つける」ことになります。道具そのものに「善・悪」があるのではなく、それを使う人間次第だということがわかってと思います。

「勉強」を1つの「道具」と考えてみます。よく考えて「勉強」という道具を使わないと、「ナイフ」のように人を傷つけたり、自分自身を不幸にしたりします。勉強ができるようになった人の危険な使い方の例は、「できない人を見下す」「あいさつすらしなくな

る」「他人を批判するために知識を使う」「勉強に熱中しすぎて、人の気持ちが分からなくなってしまう」「自国の歴史を知って他国を憎む」「自国の文化を知って他国の文化を否定する」「多くの人に被害を与えるための物をつくり出す」などです。

では、「勉強」は何をするための「道具」なのでしょう？勉強によって手に入るものをいくつかあげてみます。

まず、「忍耐力」を鍛えることができます。勉強は壁を越えると、また次の壁が待っているため辛抱強く努力し続けなければなりません。また、「自信」を手に入れることもできます。何度も壁を乗り越えることで小さな成功を経験できます。記憶力・判断力・応用力が鍛えられて「脳を活性化」することもできます。また、人から習うことによって「素直な心」を学ぶこともできます。「いろいろな人の気持ちがわかる」ようにもなります。「勉強」という道具を使って手に入れられることは数限りなくあるのです。

「高校に合格する」ための1つしか考えていない人は、「合格」しか手に入らず、その後の高校生活は苦しいものになってしまいます。何をするためかたくさん考えれば、たくさんのが手に入ります。

つまり、勉強は「自分を磨くため」「人の役に立つため」の道具なのです。自分を磨いて、昨日とは違う自分になるための道具です。自分を鍛え、自分を磨けたかどうかによって、「勉強という道具」をうまく使えたかが決まります。だからこそ「合格」して不幸になる人もいれば、不合格になっても幸せを手にする人もいます。

ところが、世の中、「合格」こそが勉強の目的と勘違いしたままの人が多いです。間違った使い方勉強という道具を使うと、さんざんな結果になってしまいます。

「自分を磨くため」「人の役に立つため」この2つの目的のために使ったときに、はじめて正しい使い方をしたといえるのです。

「部活動」を「道具」として考えてみましょう。何のための道具なのか？「勝つため」や「入賞するため」だけに使うと…。

「チームワークの大切さ」「努力を積んで選手に選ばれる喜び」「仲間と共に勝つ喜び」「負ける悔しさ」「最後までやり通す忍耐力」「人の失敗を責めない優しさ」「感謝の心」「一生懸命練習したことに対する自信や達成感」  
これらを身につけるための「道具」ではないでしょうか？

どうかみなさん、決して「合格」のためだけの道具として「勉強」を使わないでください。ぜひ、これからの勉強を「自分を磨くため」「人の役に立つため」の道具として使ってみてください。

**心の成長なくして、本当の結果を手にはできない**

参考：「手紙屋～蛍雪編～」喜多川泰：著

## 保護者のみなさまへ

文化発表会では、お忙しい中足を運んでくださりありがとうございました。子ども達の歌声や姿、展示作品はいかがでしたでしょうか。

昨日、2回目の学力診断テストが終わりました。テストに向けて勉強する生徒が多く見られ、受験生としての自覚が少しずつ芽生えてきたようです。今月は、進路説明会と進路相談(三者面談)を行わせていただきます。進路についてお子様とじっくり話し合いを重ねていただきたいと思います。ご不明な点やご心配がありましたら、担任にご相談ください。よろしくお祈りします。